

弘前大学学報



弘高生青春の像

第 92 号
平成23年11月号

学内ニュース

○「防災・日本再生シンポジウム」を開催	-----	1
○「女性のための防犯教室」を開催	-----	2
○哈爾濱師範大学より 段 虹 教授が来学	-----	3
○弘前大学名誉博士称号授与式を举行	-----	4
○平成23年度弘前大学学術特別賞授与式を举行	-----	5
○平成23年度東北地区共同研究センター連絡協議会を開催	-----	6
○農学生命科学部附属生物共生教育研究センター農場祭を開催	-----	7
○学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム学生委員会 「学園都市弘前街づくりプラン策定事業」 中間報告会及び学生と弘前市長との意見交換会を開催	-----	8
○テネシー大学マーチン校 (UTM) より Jong- Chae Kim 助教が来学	-----	9
○国立大学法人弘前大学主催音楽会 弘前大学フィルハーモニー管弦楽団演奏会 ー八戸地域弘前大学同窓会創立10周年記念公演ーを開催	-----	10
○平成23年度 弘前大学研究成果公開シンポジウム 「東日本大震災復興に向けた弘前大学の研究展開」 ーこれまでの活動と今後の新エネルギー・環境研究への取組ーを開催	-----	11

諸 会 議

-----	12
-------	----

人 事

○人事異動	-----	14
-------	-------	----

主要日誌

-----	15
-------	----

学内規則等の制定等

-----	16
-------	----

「防災・日本再生シンポジウム」を開催

本学では、一般社団法人国立大学協会との共催により、地元自治体の協力を経て地域住民及び地元企業等を対象とした「防災・日本再生シンポジウム」を11月9日（水）に開催し、大学教職員、自治体関係者、一般企業、一般市民等約190名の参加がありました。

同シンポジウムでは、遠藤学長による挨拶の後、三村青森県知事（代読：青山副知事）の挨拶に続き、南條学長特別補佐から開催趣旨説明がありました。

その後、本学北日本新エネルギー研究所長ら3名の教員による講演と、牛山足利工業大学長ら学内外6名のパネリストならびに4名のコメンテーターによる「日本再生プランと人材育成」をテーマとしたパネルディスカッションが行われました。「リスクの分散」、「再生可能エネルギー、食の地産地消」、「被ばく等の状況調査」、「地域視点での日本再生」の必要性が指摘され、また、「放射線」、「安全、リスク管理」、「技術経営」などの教育をカリキュラムに取り入れた人材育成が重要であるとの意見も出され、東日本大震災後の防災と日本再生、人材育成について考える良い機会となりました。



遠藤学長による挨拶



パネルディスカッションの様子

「女性のための防犯教室」を開催

本学では、青森県内における本年上半期の性犯罪の発生件数が前年同時期との比較で増加していることから、防犯意識の向上を目的として、11月9日（水）に「女性のための防犯教室」を実施しました。

本教室は青森県警察本部の協力を受けて行われ、学生及び教職員11名が参加しました。

講習内ではまず最初に大学周辺の街灯の少ない道路や遮蔽物の多い住宅地などを見回り、日常生活圏内にどのような危険が潜むかに関して具体的な説明がありました。その後教室へ場所を移し、犯罪統計や具体的な犯罪事例、身を守るためのポイントなどについて解説されました。

さらに、歩行中に携帯電話を操作することにより、いかに周囲への気配りができなくなるかについて参加者に実際に体験してもらい、犯人から逃げることを目的とした護身術の実技講習や注意喚起のためのビデオの視聴を行い、自分の最良のボディガードは自分であるという意識の向上に努めました。



路上の危険箇所について説明を受ける参加者

哈爾濱師範大学より 段 虹 教授が来学

本学協定校である中国・哈爾濱師範大学から哈爾濱師範大学政法学院副院長 段 虹 教授が大学間交流協定に基づく7人目の招へい研究者として、11月9日から11月17日までの8日間の日程で来学されました。

同教授は、今回同行された哈爾濱師範大学政法学院 鄭 楊 副教授とともに、11月11日に遠藤学長を表敬訪問されるとともに、15日には「中国と西洋の建築から見た美しさ」と題して総合教育棟において講演を行いました。

中国と西洋の代表的な建築物の画像を多用し、専門である「美学」の観点から鋭い考察を交えた講演は観衆の目を惹き、質疑応答の際には活発な意見交換が交わされました。

同教授は本学滞在中の短期間に、受入部局の人文学部教員・学生との研究情報交換、並びに指導・助言等、寸暇を惜しんで積極的に交流を深められました。



(上段左より：黄人文学部教授、大西国際交流センター長、鄭哈爾濱師範大学副教授、
下段左より：遠藤学長、段哈爾濱師範大学教授)



講演会の様子

弘前大学名誉博士称号授与式を挙

本学は、11月11日（金）、宮田亮平氏（東京藝術大学学長）と安達弘潮氏（本学名誉教授・現東北女子大学教授）に弘前大学名誉博士称号を授与しました。

宮田氏は、弘前大学創立60周年記念行事に際し、そのモニュメントとして「幸せのリング」と題して“イルカ”をモチーフとした大型金工作品の制作と記念学術講演を行ったほか、このたび本学で新たに創設した弘前大学学術特別賞のためのモニュメント制作を行うなど、本学の教育研究への貢献、地域の芸術レベルの向上、本学の知名度向上等に著しく貢献しています。

また安達氏は、学生を中心とした弘前大学フィルハーモニー管弦楽団を創立し、指導を行い本学退任後も常任指揮者として同管弦楽団の発展に尽力されています。

授与式は、遠藤学長から名誉博士記が宮田氏、安達氏に授与され、引き続き遠藤学長が式辞を述べた後、受章された両氏から挨拶をいただき終了いたしました。

本学では、学術文化又は国際交流の発展に多大な貢献があり、本学の教育研究の進展に寄与した功績が特に顕著であった方に対して弘前大学名誉博士の称号を授与しており、宮田氏、安達氏は、11・12人目の受章者となります。



関係者による記念撮影

（前列左4人目から、宮田亮平氏、遠藤学長、安達弘潮氏）

モニュメント「シュプリングエン」除幕式及び 平成23年度 弘前大学学術特別賞授与式を開催

本学では、弘前大学学術特別賞が創設され、11月11日（金）にモニュメント「シュプリングエン」除幕式及び平成23年度弘前大学学術特別賞授与式が執り行われました。

学術特別賞には、独創的かつ完成度の高い数編の論文を対象とする「弘前大学学術特別賞（遠藤賞）」と、独創的かつ著者の将来性を伺わせるに足る1編の論文を対象とした「弘前大学若手優秀論文賞」があり、ともに本学における研究水準の向上に著しい貢献をした論文を顕彰することを目的としています。

授与式に先立ち学術特別賞創設に当たり、宮田東京藝術大学長に制作を依頼したモニュメントの除幕式が、本学事務局にて執り行われました。

除幕式では、遠藤学長と宮田学長により除幕が行われた後、遠藤学長の挨拶に続き宮田学長より挨拶及びモニュメントについての説明がありました。

引き続き、授与式が執り行われ、今年度は遠藤賞2名、若手優秀論文賞2名の受賞があり、遠藤賞受賞者へは副賞として宮田学長自ら制作された、モニュメントのレプリカのトロフィーが贈られました。また、両学長からの挨拶後、各受賞者よりスピーチがあり、会場からは大きな拍手が贈られていました。

受賞者は次の方々です。

1. 弘前大学学術特別賞（遠藤賞） 2. 弘前大学若手優秀論文賞

所属部局	職名	受賞者名	受賞テーマ
理工学研究科	教授	吉澤 篤	「アモルファスブルー相発現の分子設計および無秩序－秩序相転移に基づく表示機能の創成」
医学研究科	准教授	森 文秋	「神経難病の病理発生機序と病変進展様式の解明」

所属部局	職名	受賞者名	受賞対象論文
農学生命科学部	特別 研究員	尾崎 拓	「Mitochondrial m-calpain plays a role in the release of truncated apoptosis-inducing factor from the mitochondria」
保健学研究科	助教	細田 正洋	「The time variation of dose rate artificially increased by the Fukushima nuclear crisis」



遠藤学長より学術特別賞を授与される吉澤教授



宮田東京藝術大学長よりトロフィーを受け取る森准教授

平成23年度東北地区共同研究センター連絡協議会を開催

本学は、平成23年度東北地区共同研究センター連絡協議会を11月11日（金）、弘前市内のホテルを会場に開催しました。

同協議会は、東北地区国立大学法人の共同研究センターが産学官連携、地域貢献及び知的財産活用推進に関してセンター間の連絡を密にすることを目的に、毎年開催しているもので、今回は本学地域共同研究センターの主催で、35名の参加がありました。

協議会では、開会挨拶の後、石田文部科学省大学技術移転推進室長補佐から「産学官連携の現状と今後の展開」と題して講演が行われた。続いて議長選出後、各大学から提出された協議・報告事項等について、それぞれの大学から具体的な事例紹介が行われ、同席した東北経済産業局、（独）科学技術振興機構、（株）東北テクノアーチ及び（株）インテリジェント・コスモス研究機構を交え、活発な意見交換が行われました。

また、協議会終了後は、遠藤学長などの出席を得て、今後の各センター間の交流や連携について和やかな雰囲気の中で情報交換会が開催されました。



講演する石田文部科学省大学技術移転推進室長補佐



活発な意見交換が行われた協議会の様子

農学生命科学部附属生物共生教育研究センター農場祭を開催

本学農学生命科学部附属生物共生教育研究センターでは、11月12日（土）、五所川原市金木町にある金木農場で「農場祭」を開催しました。

この農場祭は、地域の方々との結びつきを深めるため毎年行っているもので、今年度は金木農場で行われました。農場生産物販売コーナーでは、本学藤崎農場産のリンゴ、野菜、クルミ、ぎんなん及び金木農場産の米及び牛肉が販売されました。

販売された牛肉は「弘大アップルビーフ」という産業廃棄物・リンゴの搾りかすを飼料にした牛肉で、大学発の地域ブランド化を目指し、平成23年2月に商標登録をしています。今年6月には「弘大アップルビーフ」特別生産牛舎も完成し、牛舎内の換気設備などは太陽光発電を使用するなど自然エネルギーで電力が賄われています。

また、会場では、学生によるクレープの販売や金木観光物産館「マディニー」、つがる市稲垣町「おかずや」及び弘大生協も出店し、多くの来場者で賑わいを見せました。



多くの来場者で賑わう農場生産物販売コーナー

学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム学生委員会
「学園都市弘前街づくりプラン策定事業」
中間報告会及び学生と弘前市長との意見交換会を開催

弘前市に所在する6つの大学・短大等で組織する学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアムの学生委員会は、11月13日（日）弘前市民会館で「学園都市弘前街づくりプラン策定事業」の中間報告会を開催しました。この事業は、弘前市からの委託により「大学生の目線による街づくり」をキーワードに、人口の約6%が大学関係者である学園都市としての現在の弘前市を検証し、「学生が考える『若者の賑わいのある街づくりを推進するための弘前市振興策』を市へ提言する」というものです。学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアムの会長である遠藤学長の開会の挨拶のあと、葛西弘前市長及びコンソーシアム構成大学長らを前に、学生委員会がこれまでの活動報告や先進地域コンソーシアム・自治体の視察の様子、また6大学の学生を対象とした「弘前市の住みやすさ」に関するアンケートの結果を発表し、これからのプラン策定に向けて、有意義な報告会となりました。

会場には、市民や学生ら95名の参加があり、中間報告会のあとに行われた大学生と弘前市長との意見交換では学生が市長と議論を交わす場面もありました。また各大学長から学生への激励メッセージも飛び出すなど、活発な意見交換が行われました。

今後学生委員会は、プラン策定最終報告に向けて意欲的な活動を行うとともに、弘前市の更なる活性化をめざし、長期的な取組を行っていくこととしています。



挨拶する遠藤弘前大学長



学生と市長・学長との意見交換の様子

テネシー大学マーチン校（UTM）より Jong- Chae Kim 助教が来学

本学の協定校である米国・テネシー大学マーチン校から、大学間交流協定に基づく25人目の招へい研究者として教育、健康・行動科学部 Jong- Chae Kim 助教が11月16日から11月22日までの7日間の日程で来学されました。

同助教は、11月18日に遠藤学長を表敬訪問され、11月18日と21日に教育学部にて専門のスポーツマネジメントに関する講演を行いました。また、11月20日には青森県武道館にて開催されたNPO法人スポネット弘前主催による「ジュニアスポーツ講習会」においても特別講演を行いました。

本学滞在中、受入部局の教育学部教職員並びに学生との教育・研究、情報交換、指導・助言等、寸暇を惜しんで積極的に交流され、短い滞在期間ながらも非常に有益な交流が出来たことに感謝の意を表し、帰国の途につかれました。



(上段左より：麓教育学部教授、野呂教育学部准教授
下段左より：Kim助教、遠藤学長)



講演の様子

国立大学法人弘前大学主催音楽会
弘前大学フィルハーモニー管弦楽団演奏会
－八戸地域弘前大学同窓会創立10周年記念公演－を開催

本学では、11月23日（水・祝）、弘前大学フィルハーモニー管弦楽団による演奏会を八戸市公会堂にて開催しました。

弘前大学フィルハーモニー管弦楽団は、本学全学部 of 学生で構成されたオーケストラで、昭和44年（1969年）に結成され、創立42年を迎えます。弘前大学の入学式には、エドワード・エルガー作曲の「威風堂々」が、この管弦楽団により演奏されます。また、一昨年行われた弘前大学創立60周年記念式典に参列された方々から演奏レベルの高さが全国的に紹介されました。

平成15年度から始まった本学主催のこの演奏会ですが、今年度は八戸地域弘前大学同窓会創立10周年を記念して行ったものです。

当日は、八戸市内を始めとする青森県南各地域から約400名の来場者があり、安達弘潮名誉教授の指揮の下、S. ラフマニノフ作曲の交響曲第2番ほか計3曲が演奏され、来場者は弘前大学フィルハーモニー管弦楽団の迫力ある演奏に耳を傾けていました。



会場の八戸市公会堂で演奏する弘前大学フィルハーモニー管弦楽

平成23年度 弘前大学研究成果公開シンポジウム 「東日本大震災復興に向けた弘前大学の研究展開」 －これまでの活動と今後の新エネルギー・環境研究への取組－を開催

本学は、11月26日（土）、東京コンファレンスセンター・品川を会場とし、『平成23年度弘前大学研究成果公開シンポジウム』を開催しました。

本学が、首都圏において研究成果を公開するのは今年2月に続き2回目となり、今回は、今年3月に発生した東日本大震災における本学の活動状況と新エネルギー・環境研究について約90人の参加者に対して披露しました。

遠藤学長の開会の挨拶に続き、第1部『原子力災害に対するこれまでの取組と今後の展開』では、本学大学院保健学研究科の對馬研究科長ら4名が、「被ばく医療人材育成の取組」、「被ばく医療に関する取組」、「放射性物質による環境への影響とその対策」、「放射線科学研究による東日本大震災復興への貢献」について、第2部『新エネルギー・環境研究への取組』では、本学大学院理工学研究科小菅准教授ら3名が、「東日本大震災を踏まえた長期的地震防災力向上プロジェクト」、「青森発東日本大震災復興地熱研究プロジェクトの展開」、「世界遺産白神山地の学術的活用の試み」について講演を行いました。

会場からは、「東日本大震災以前から被ばく医療等の取組を行っている弘前大学の先見性に驚いている」という声があったほか、それぞれの講演に対して、「放射能に関して青森県の農産・海産物に影響はないのか」、「過去の地震の歴史的データはあるのか」、「地熱発電の電気の買取はどうか」等の質問、「青森県産品は放射能汚染が無く大丈夫だということを弘前大学が中心となってアピールしてほしい」、「放射性物質の種類や危険性等を国民に対して分かりやすく表にした資料を弘前大学が作成してほしい」等の意見も活発に出されるなど本学が取り組んでいる研究成果を広く発信する良い機会となりました。



挨拶する遠藤学長



会場の様子

■ 諸 会 議

▼役員会

11月 7日（月）

審議事項

- 1 弘前大学名誉博士候補者の推薦について

報告事項

- 1 第2期中期目標期間における国立大学法人評価について
- 2 青い森セントラルパーク低炭素型モデルタウン事業の中止について
- 3 学寮の耐震改修工事について
- 4 平成23年度弘前大学学術特別賞受賞者の決定について
- 5 平成23年 秋の生存者叙勲授章について
- 6 国立大学の機能強化のための取組について
- 7 一般社団法人国立大学協会平成23年度第2回通常総会について

11月14日（月）

審議事項

- 1 弘前大学国際交流センター規程の改正について
- 2 平成23年度の業務運営に関する計画（年度計画）の変更について
- 3 弘前大学名誉博士候補者の推薦について

11月21日（月）

審議事項

- 1 平成23年度組織評価の評価結果（案）について
- 2 国立大学法人弘前大学宿舍規程の一部改正について

報告事項

- 1 「弘前大学チェルノブイリ視察団」の派遣について
- 2 被災学生に対する経済支援について
- 3 平成23年度科学研究費助成事業（科研費）の申請状況について

11月29日（火）

報告事項

- 1 「研究機関における公的研究費の適正な執行等のための取組の徹底について」に関する調査結果について

▼教育研究評議会

11月 8日（火）

審議事項

- 1 弘前大学国際交流センター規程の改正について
- 2 東日本大震災により被災した弘前大学入学志願者の検定料の免除について
- 3 弘前大学名誉博士候補者の推薦について

報告事項

- 1 教員の人事について
(1) 教員の採用・昇任
 - 2 平成23年度の就職内定状況等について
 - 3 弘前大学学生会館広場ステージ使用要項の制定について
 - 4 総合文化祭の終了について
 - 5 学術特別賞受賞者の決定について
 - 6 弘前大学資料館（仮称）について
 - 7 平成23年度女性研究者研究活動支援事業合同公開シンポジウムについて
-

8 委員会等報告

- (1) 21世紀教育センター運営委員会
- (2) 教育・学生委員会
- (3) 入学試験委員会
- (4) 第4次臨時入学試験改善委員会
- (5) 研究・産学連携委員会

9 一般社団法人国立大学協会平成23年度第2回通常総会について

10 青い森セントラルパーク低炭素型モデルタウン事業の中止について

11 各種シンポジウムの開催について

(1) 防災・日本再生シンポジウムの開催について

(2) 平成23年度弘前大学研究成果公開シンポジウム「東日本大震災復興に向けた弘前大学の研究展開」の開催について

▼教育・学生委員会

11月24日(木)

審議事項

- 1 平成23年度後期「学生による授業評価アンケート」の実施等について
- 2 平成23年度FD活動について
- 3 保護者アンケートの実施について

報告事項

- 1 平成24年度授業開始までの日程について
- 2 平成23年度後期授業料免除者の選考結果について
- 3 東日本大震災による被災学生への平成24年度における経済支援について
- 4 女性のための防犯教室について

▼研究・産学連携委員会委員会

11月2日(水)

審議事項

- 1 平成24年度弘前大学特別研究員の募集について

報告事項

- 1 平成23年度弘前大学学術特別賞の選考結果について
- 2 弘前大学特別研究員の研究活動中止について
- 3 地域共同研究センター運営委員会の報告について

人 事 異 動

[採用]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年11月1日		富田 泰史	講師(医) [30.10.31まで]
平成23年11月1日		山本 勇人	助教(病院) [28.10.31まで]
平成23年11月16日		萱場 広之	教授(医) [33.11.15まで]

[昇任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年11月1日	助教(医)	高橋 一平	講師(医) [30.10.31まで]

[併任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年11月16日	教授(医)	福田 眞作	病院長補佐(病院)
平成23年11月16日	教授(医)	萱場 広之	検査部長(病院)

[休職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年11月27日	看護師(病院・看護部)	関 照美	平成23年12月18日まで

[育児休業]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年11月9日	看護師(病院・看護部)	金谷 里佳	平成24年9月30日まで

[復職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年11月1日	職員グループ係長(総務・人事)	石岡 勝彦	休職より
平成23年11月1日	助手(医)	福田 和歌子	育児休業より

[離職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年11月15日	看護師(病院・看護部)	太田 純子	
平成23年11月30日	助教(病院)	越前 崇	
平成23年11月30日	助手(病院)	鈴木 裕一朗	

■ 主要日誌

- 1 1月2日 研究・産学連携委員会委員会
- 7日 役員会
- 8日 教育研究評議会
- 9日 弘前大学防災・日本再生シンポジウム
女性のための防犯教室
- 11日 弘前大学名誉博士称号授与式
平成23年度弘前大学学術特別賞授与式
平成23年度東北地区共同研究センター連絡協議会
- 12日 農学生命科学部附属生物共生教育研究センター農場祭
- 14日 役員会
- 21日 役員会
- 23日 弘前大学フィルハーモニー管弦楽団演奏会
- 24日 文京町団地内合同消防訓練
教育・学生委員会
- 26日 平成23年度 弘前大学研究成果公開シンポジウム
- 29日 役員会

■ 学内規則等の制定等

(平成23年11月1日改正)

○国立大学法人弘前大学工事契約関連事務取扱細則

「競争加入者心得について」(平成2年5月31日付け文施指第80号文教施設部長通知)の一部改正に伴い、同通知を準用して規定している競争参加者心得(別記)について字句の修正等を行うため、上記の細則の一部を改正した。

(平成23年11月16日改正)

○弘前大学国際交流センター規程

平成23年7月12日開催の教育研究評議会、平成23年7月25日開催の役員会にて了承された「弘前大学における英語力向上に向けた取組について」に基づき、国際交流センターに部門を設け、ネイティブスピーカー等の教員を採用することに伴い、上記の規程の一部を改正した。

(平成23年11月22日改正)

○国立大学法人弘前大学宿舎規程

学園町職員宿舎(3号棟及び4号棟)の改修工事に伴い、改修工事後の3号棟及び4号棟に係る宿舎使用料の算定方法を見直すため、上記の規程の一部を改正した。

弘前大学学報第92号

弘前大学総務部総務課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172) 36-2111